

「膵疾患アトラス」 —症例に学ぶ診断・治療の考え方—

東京女子医科大学教授 羽 生 富士男 編集

千葉大学教授・第1内科
大 藤 正 雄

近年、膵臓病の診断と治療には素晴らしい進歩がみられている。

画像や内視鏡による検査法が導入される以前には手探りのような状態で進めていた診断が、今では納得のゆく明白な証拠に基づいて進めることができるようになった。それによって膵疾患の診断体系も改められ、現在、膵疾患の診療は外来の段階でほとんどの診断が確定し、治療を目的として入院する状態に変わってきている。診断に困り、試験開腹によって診断を確定せざるを得なかった苦い経験は最早みられなくなった。

本書を繙くと、このように進歩し

た膵臓病の診断と治療の現況が浮き彫りにされており、以前を知る者にとっては膵臓病学がここまで進歩したのかという感を深くするものである。アトラスに取り上げている症例は典型的疾患であるが、診断法を十分に駆使して最善の治療を行っており、診療の実際が実に簡潔明瞭に記述されている。その充実した内容には深い満足感を覚える。また高い学問的レベルを保ち、しかも芸術品とも言えるような素晴らしい画像は、それを得るために平素並々ならぬ努力と修練が必要であり、それを思うと新たな感銘を受けるものである。

あつという間に全巻を読み通さざるを得なくする迫力を持った書物である。

各疾患別に総括があり、最新の資料による病態の解説が行われており、そのことが症例の理解を一層容易にし、疾患の把握に役立っている。なお、各症例にみられるアセスメントでは疾患に対する診療上の著者の考え方が具体的に示されており、すぐにでも実地に役立つ内容である。また編集の良さが目立つ膵疾患アトラスでもある。

消化器病の中でも難問とされる膵疾患の臨床に打ち込み、長年の研鑽を重ねてきた著者らの努力の成果としてこのような素晴らしい書物が出来上がったことは言うまでもない。

長い間、同じ専門分野にあって切磋琢磨し啓蒙を受けてきた畏友、羽生富士夫教授が面目躍如たる著書を今回出版したことを心から喜び、改めて敬意を表するものである。

●A4判変型 174頁 図9 写真196
原色図140 色図2 1990 定価
20,600円(税込) ㊦ 300

医学書院 刊 (㊦03-3817-5657)